

日本のトップ製薬企業を目指して

2010年第2四半期レビュー

中外製薬株式会社
代表取締役社長 兼 CEO
永山 治

2010.7.22/23

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

2010年度第2四半期決算

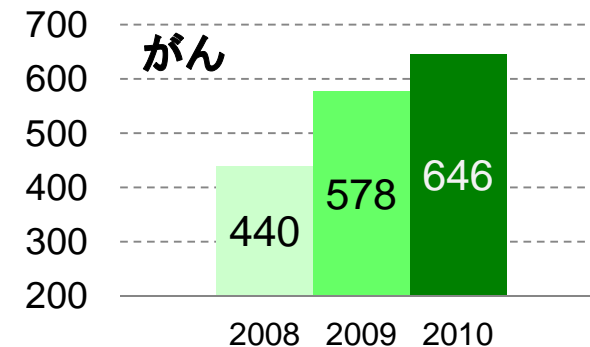
**製商品売上高（タミフルを除く）は薬価改定分を補って伸長
純利益はタミフル、為替影響により減少**

(億円)	2009	2010	対前同	対計画
売上高	1,917	1,824	-4.9%	-3.5%
タミフルを除く製商品売上高	1,606	1,686	+5.0%	-1.2%
タミフルを除く国内製商品売上高	1,463	1,506	+2.9%	-1.2%
営業利益	372	276	-25.8%	+4.2%
売上比	19.4%	15.1%		
純利益	263	164	-37.6%	-1.8%
売上比	13.7%	9.0%	12.8%	

主要領域国内売上状況

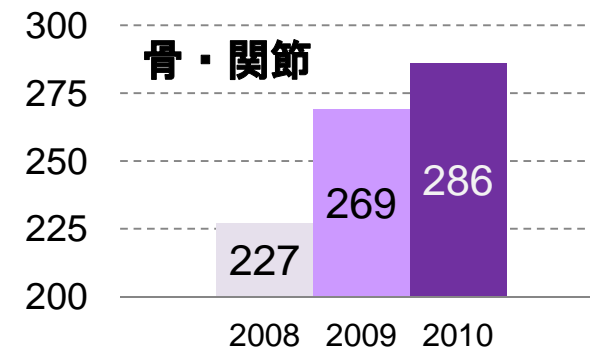
がん

アバスチン、ゼローダ：前同比50%以上の売上増により成長を牽引



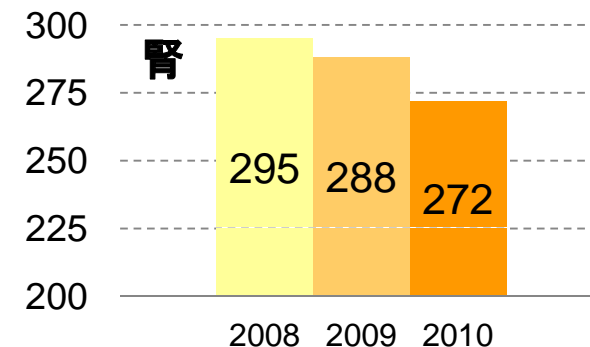
骨・関節

アクテムラ：生物学的製剤の第一選択薬の地位確立に向け力強く伸長



腎

エポジン：発売20周年を迎え、確立された安全性・有効性をベースに健闘



アクテムラ

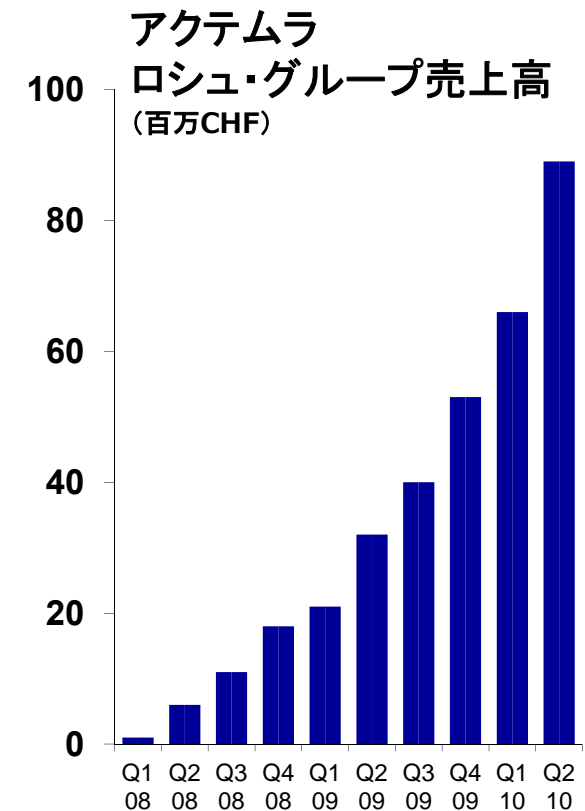
■ 世界約50カ国以上で発売

- 三極展開の本格化

米国：リウマチ専門医の5割以上が使用開始

■ 適応拡大状況

- 皮下注製剤の国内P3開始（5月）
- 欧州で関節破壊抑制の適応拡大承認（6月）
- ロシュ臨床試験
 - Humiraとの直接比較試験開始



2010年薬価改定影響① – 業績面

新薬創出による成長の加速

長寿製品依存の解消
特許切れ問題の不存在

長期収載品
総売上比率約20%

市場拡大再算定
ハーセプチン

新薬創出等加算品

14成分*

総売上比率40%超

アバスチン、タルセバ
アクテムラ等

国内有数の新薬パイプライン
新薬開発への原資

2010年薬価改定影響② — R&D面

■ 未承認薬検討会議

医療上の必要性が特に高い未承認薬について開発要請
当社は下記4件が該当

製品	適応症	現在の開発ステージ
ゼローダ	進行再発胃がん	申請済み
タルセバ	進行再発膵がん	申請済み
アバスチン	進行再発乳がん	申請済み
pulmozyme	膵嚢胞線維症	検討中

2010年第2四半期 連結決算概要

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員 兼 CFO
児玉 龍三

2010.7.22/23

2010年第2四半期 連結決算概要

- **売上高 1,824億円 前年同期比 ▲93億円 (▲4.9%)**
 - ・ タミフルを除く製商品売上高 +80億円 (+5.0%)
 - ・ 国内 +2.9%、海外 +27.5%
 - ・ タミフル売上高 ▲134億円
 - ・ その他の営業収入 ▲40億円
- **営業利益 276億円 前年同期比 ▲96億円 (▲25.8%)**
 - ・ タミフル、その他の営業収入を除いたベースでは増益
- **公表予想（半期）対比 達成状況**
 - ・ 売上高 ▲67億円 達成率96.5%
 - ・ 営業利益 +11億円 達成率104.2%

損益の概要 1-6月実績

【億円】	2009年 1-6月	売上 (%)	2010年 1-6月	売上 (%)	増減	%
売上高	1,917		1,824		▲93	▲4.9
製商品売上高	1,859		1,806		▲53	▲2.9
タミフルを除く	1,606		1,686		+80	+5.0
タミフル	254		120		▲134	▲52.8
その他の営業収入	57		17		▲40	▲70.2
営業利益	372	19.4	276	15.1	▲96	▲25.8
営業外収益	69		30		▲39	▲56.5
営業外費用	6		44		+38	+633.3
経常利益	435	22.7	262	14.4	▲173	▲39.8
特別利益	3		1		▲2	▲66.7
特別損失	1		1		+0	+0.0
当期(四半期)純利益	263	13.7	164	9.0	▲99	▲37.6

●製商品売上高(タミフルを除く)
+80億円

●タミフル* ▲134億円

●その他の営業収入 ▲40億円
マイルストーン収入の減少

●営業利益 ▲96億円

●営業外収支の減少 ▲77億円
為替予約評価損益の悪化

期中平均レート(円)

	2009年1-6月	2010年1-6月
CHF	84.52	84.42
EUR	127.19	121.21

* タミフル 内訳

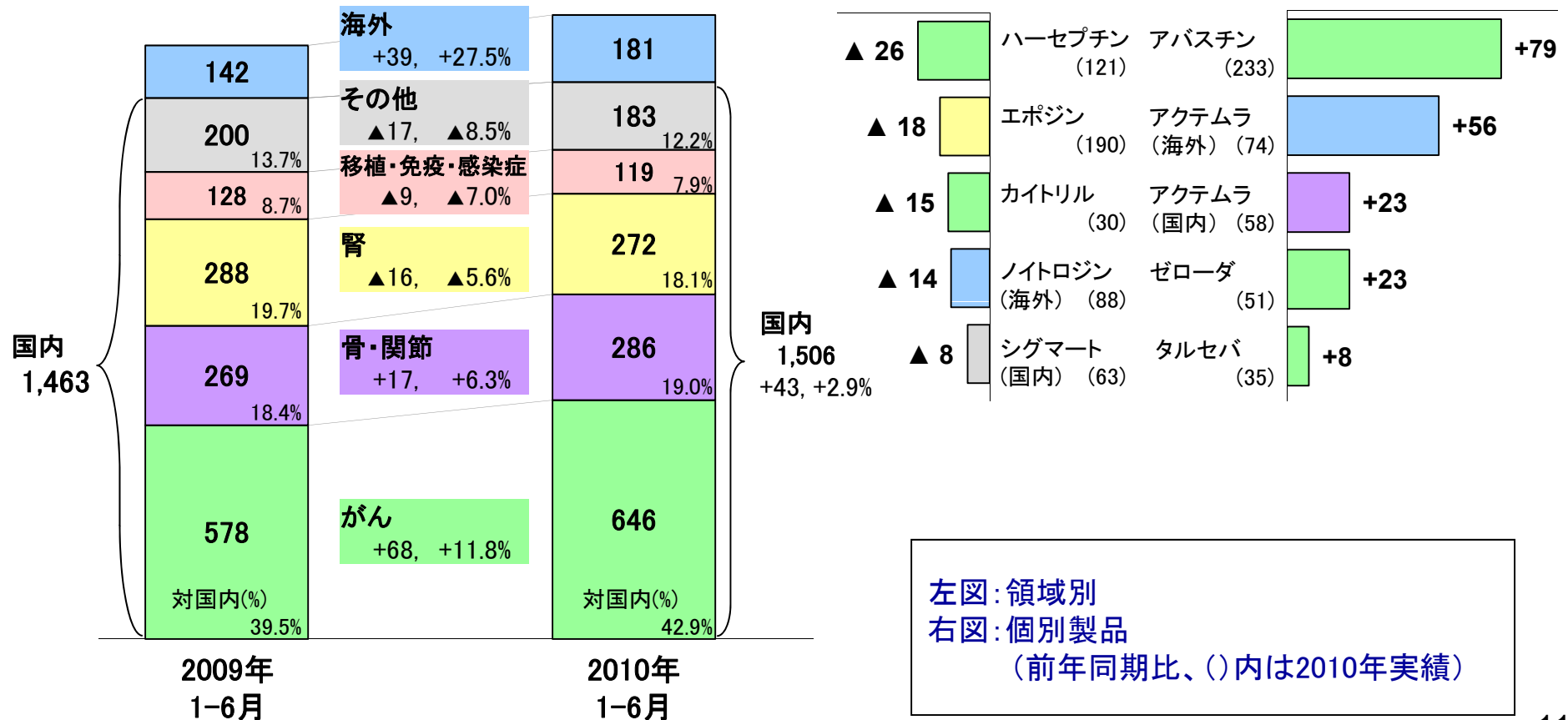
	2009年1-6月	2010年1-6月	増減
通常	110億円	14億円	▲96億円
行政備蓄等	144億円	106億円	▲38億円

製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-6月実績

【億円】

製商品売上高（タミフルを除く）
1,686億円（+80, +5.0%）

1,606億円



タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上												シーズン 売上	定点観測数* (百万人)
		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期			
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月		
通常	2004-05	232												246	1.47
	2005-06		119	99										218	0.92
	2006-07				37	50								87	1.01
	2007-08						52	14						66	0.66
	2008-09								57	110				167	1.27
	2009-10										252	14		266	2.02
	2010-11												191		
通常		351 (+265)		136 (-215)		102 (-34)		71 (-31)		362 (+291)		205 (-157)			

行政 備蓄等	2005-06		2	65										67	
	2006-07				179	189								368	
	2007-08						96	2						98	
	2008-09								11	144				155	
	2009-10										256	106		362	
	2010-11												76		
行政備蓄等		2 (+2)		244 (+242)		285 (+41)		13 (-272)		400 (+387)		182 (-218)			

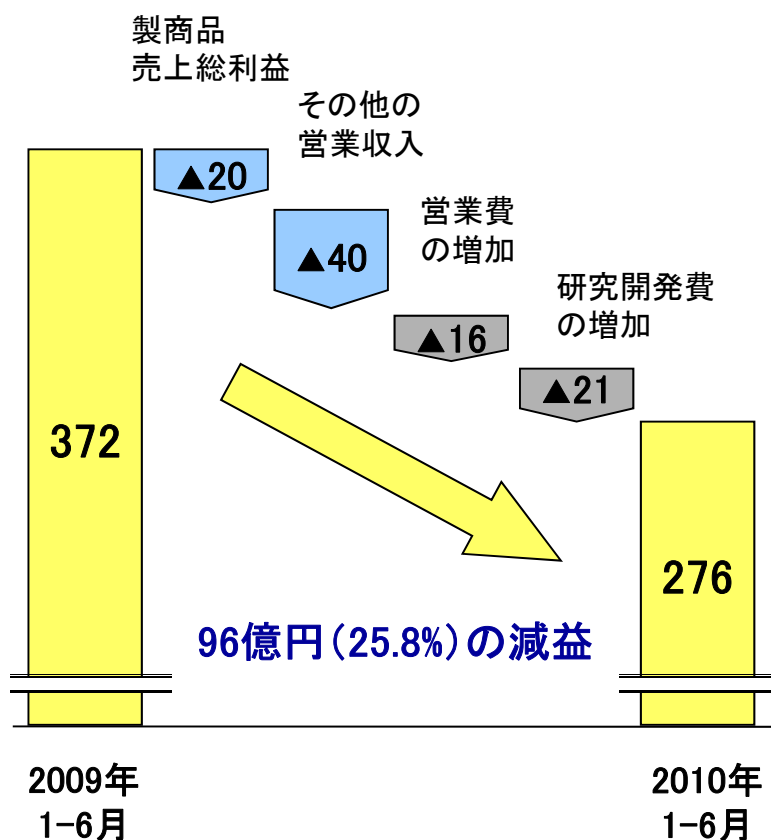
合計	232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	267		
	352 (+266)		380 (+28)		387 (+7)		84 (-303)		762 (+678)		387 (-375)			

黄色の網掛けは予想値(2010年7-12月の値は1-12月予想値と1-6月実績値との差額)

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」 10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

営業利益の増減内訳 1-6月実績

【億円】



【億円】	2009年 1-6月	2010年 1-6月	増減	(%)
売上高	1,917	1,824	▲93	▲4.9
売上原価	839	805	▲34	▲4.1
売上総利益	1,078	1,018	▲60	▲5.6
うち 製商品	1,021	1,001	▲20	▲2.0
うち その他の営業収入	57	17	▲40	▲70.2
営業費	461	477	+16	+3.5
研究開発費	245	266	+21	+8.6
営業利益	372	276	▲96	▲25.8

- 売上総利益の減少 ▲60億円
 - タミフル売上高の減少
 - その他の営業収入の減少
- 営業費の増加 ▲16億円
 - 人件費の増加
 - アクテムラ・コプロモーション活動
- 研究開発費の増加 ▲21億円
 - 早期段階開発テーマの活動増加

損益の概要 4-6月（第2四半期）実績

【億円】	2009年 4-6月	売上 (%)	2010年 4-6月	売上 (%)	増減	%
売上高	970		953		▲17	▲1.8
製商品売上高	930		945		+15	+1.6
タミフルを除く	881		933		+52	+5.9
タミフル	50		12		▲38	▲76.0
その他の営業収入	40		8		▲32	▲80.0
売上原価	401		395		▲6	▲1.5
売上総利益	569	58.7	558	58.6	▲11	▲1.9
営業費	245		249		+4	+1.6
研究開発費	127		144		+17	+13.4
営業利益	196	20.2	165	17.3	▲31	▲15.8
経常利益	207	21.3	141	14.8	▲66	▲31.9
当期（四半期）純利益	125	12.9	85	8.9	▲40	▲32.0

●製商品売上高（タミフルを除く）
+52億円

アバステン +44億円
 アクテムラ（海外） +40億円
 ゼローダ +13億円
 アクテムラ（国内） +13億円
 ハーセプチン ▲17億円
 エポジン ▲12億円
 ノイトロジン（海外） ▲10億円
 カイトリル ▲9億円

●タミフル* ▲38億円

●その他の営業収入 ▲32億円
 マイルストーン収入の減少

●営業利益 ▲31億円

* タミフル 内訳

	2009年4-6月	2010年4-6月	増減
通常	50億円	0億円	▲50億円
行政備蓄等	-	12億円	+12億円

損益の概要 1-6月実績

【億円】	実績	予想（2月3日公表）					2008年 1-6月 対通期実績 進捗率 (%)	2009年 1-6月 対通期実績 進捗率 (%)
	2010年 1-6月	2010年 1-6月	達成 状況	達成率 (%)	2010年 1-12月	進捗率 (%)		
売上高	1,824	1,891	▲67	96.5	4,185	43.6	44.6	44.7
製商品売上高	1,806	1,874	▲68	96.4	4,140	43.6	45.0	44.4
タミフルを除く	1,686	1,706	▲20	98.8	3,753	44.9	45.7	46.8
タミフル	120	168	▲48	71.4	387	31.0	19.0	33.3
その他の営業収入	17	17	+0	100.0	45	37.8	19.6	58.2
売上原価	805	-	-	-	1,845	43.6	44.3	43.5
売上総利益	1,018	-	-	-	2,340	43.5	44.8	45.7
営業費	477	-	-	-	1,050	45.4	44.4	46.9
研究開発費	266	-	-	-	590	45.1	45.5	44.3
営業利益	276	265	+11	104.2	700	39.4	44.8	45.0
対売上高(%)	15.1	14.0	-	-	16.7	-	-	-
経常利益	262	270	▲8	97.0	705	37.2	42.4	48.1
当期(四半期)純利益	164	167	▲3	98.2	440	37.3	48.1	46.5

製商品売上高（タミフルを除く） 1-6月実績

【億円】	実績 1-6月	予想 1-6月	達成 状況	達成率 %	予想 7-12月 (残)	予想 1-12月	進捗率 %
タミフル除く製商品売上高	1,686	1,706	▲20	98.8	2,067	3,753	44.9
がん	646	624	+22	103.5	756	1,402	46.1
アバステン	233	203	+30	114.8	246	479	48.6
ハーセプチン	121	122	▲1	99.2	126	247	49.0
ゼローダ	51	44	+7	115.9	58	109	46.8
骨・関節	286	292	▲6	97.9	356	642	44.5
アクテムラ	58	63	▲5	92.1	93	151	38.4
腎	272	282	▲10	96.5	321	593	45.9
エポジン	190	203	▲13	93.6	232	422	45.0
移植・免疫・感染症	119	142	▲23	83.8	200	319	37.3
ペガシス	48	65	▲17	73.8	100	148	32.4
コペガス	20	31	▲11	64.5	51	71	28.2
その他	183	185	▲2	98.9	206	389	47.0
海外	181	182	▲1	99.5	226	407	44.5
アクテムラ	74	73	+1	101.4	123	197	37.6

為替変動の影響について

	想定レート対比
売上高	▲9億円
	ノイトロジン(海外) ▲6億円 アクテムラ(海外) ▲3億円
原価・販管費	ロシュ品原価 +12億円
	原価その他 +4億円
	欧州販社販管費 +2億円
営業利益	+9億円
営業外収支	為替差損益・為替予約 ▲21億円
経常利益	▲12億円

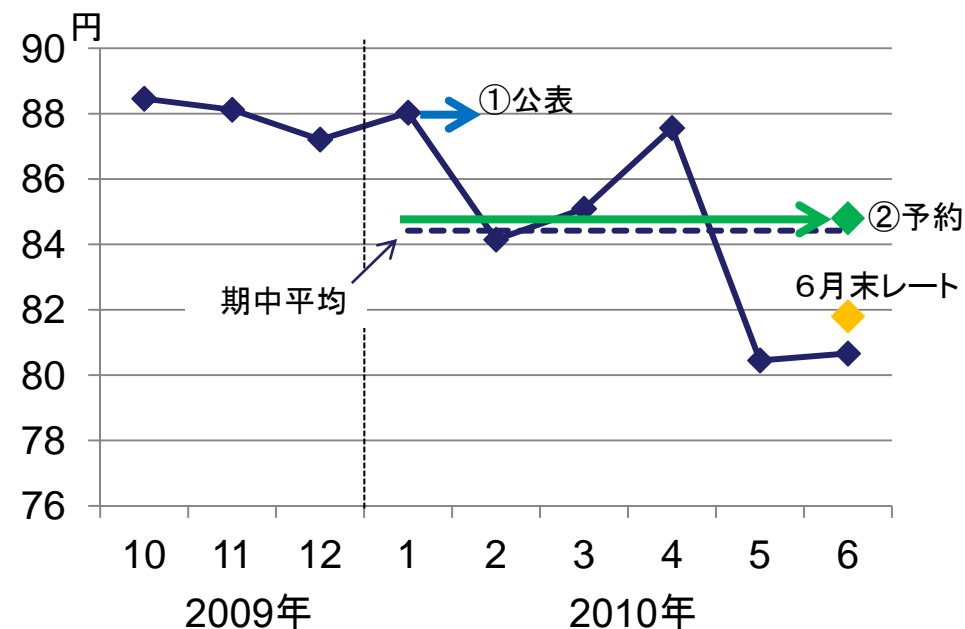
金額は利益影響(1-6月)、いずれも概算

● 想定レート

CHF: 88.00円 EUR: 130.00円

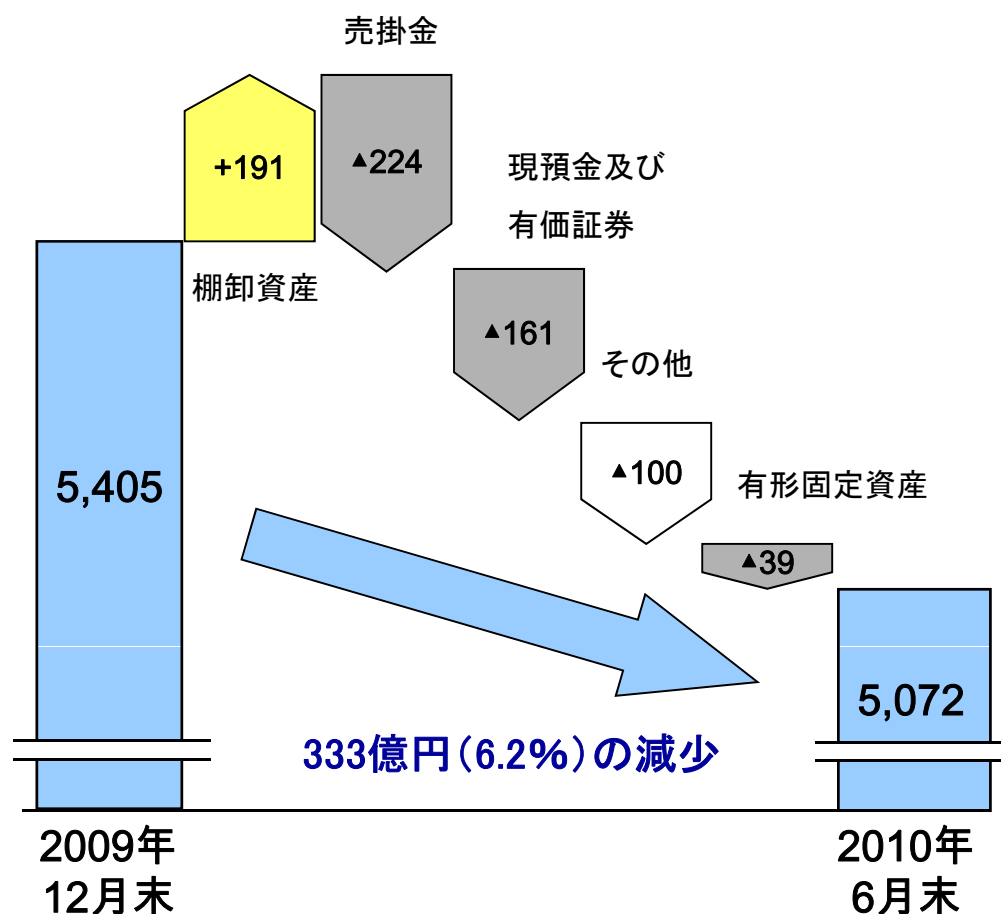
● 経常利益 CHF: ▲8億円、EUR: ▲4億円

● CHF月次平均レートの推移と予約レート (ご参考)



貸借対照表/資産の部

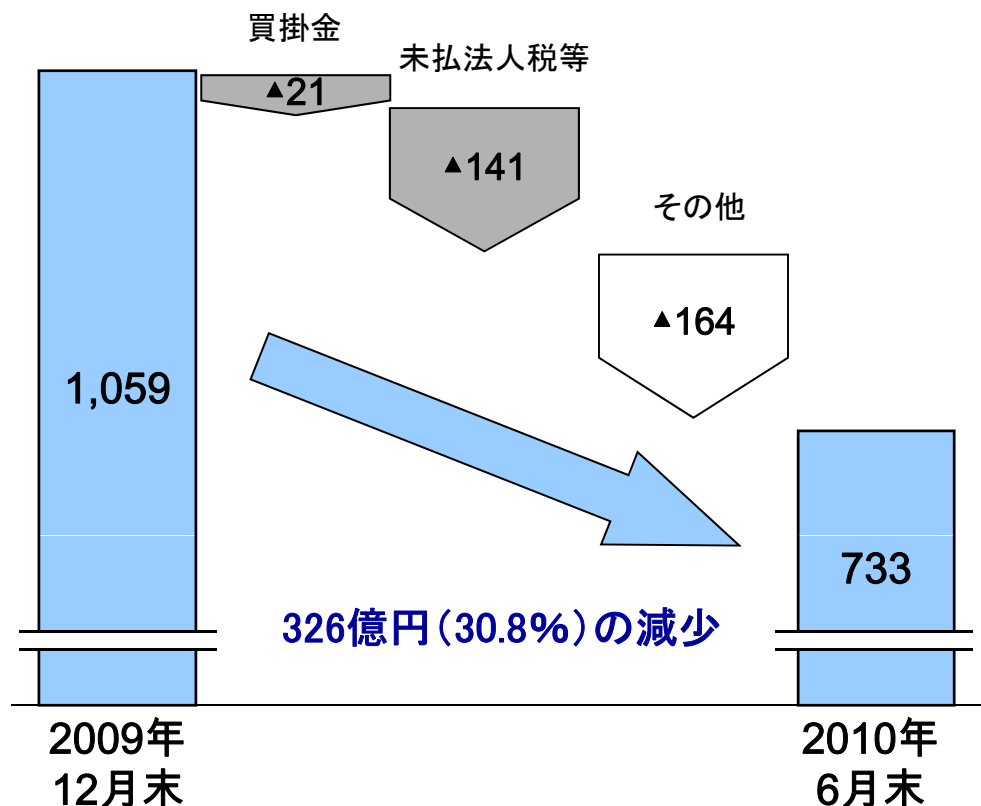
【億円】



- 現金及び預金 ▲257億円
- 有価証券 +95億円
- 棚卸資産 +191億円
季節変動およびサイトチェンジ備蓄
- 売掛金 ▲224億円
季節変動

貸借対照表/負債の部

【億円】



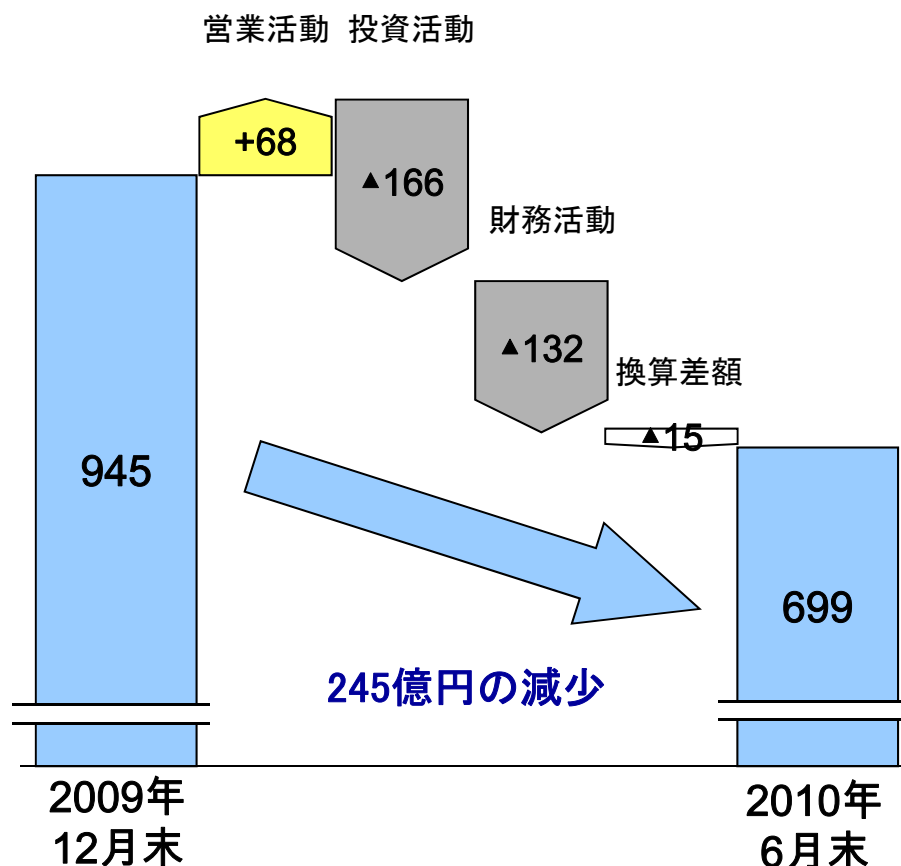
- 買掛金 ▲21億円
- 未払法人税等 ▲141億円
- その他 ▲164億円
未払費用の減少

自己資本比率

2009年12月末	2010年6月末	増減
80.0%	85.1%	+5.1%pts

キャッシュ・フロー 1-6月実績

【億円】



●営業活動に伴うキャッシュ・フロー	+68億円
税前純利益	+261億円
減価償却費等	+84億円
運転資本の減少	+5億円
売掛債権の減少	+221億円
たな卸資産の増加	▲197億円
仕入債務の減少	▲19億円
法人税等の支払	▲217億円
●投資活動に伴うキャッシュ・フロー	▲166億円
定期預金の預入による減少	▲11億円
有価証券・投資有価証券の増加	▲80億円
固定資産の取得	▲75億円
●財務活動に伴うキャッシュ・フロー	▲132億円
配当金の支払	▲125億円
少数株主への配当金の支払	▲7億円

開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員
ライフサイクル マネジメント・マーケティング エリート長
小坂 達朗

2010. 7.22/23

開発パイプライン（2010年7月現在）

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
がん	CIF/RG7167 - 固形がん CKI27/RG7304 - 固形がん GC33 - 肝がん GA101/RG7159 - 非ホジキンリンパ腫 RG3502 (T-DM1) - 乳がん	MRA/Actemra - 膝がん TP300 - 胃がん等 RG435/Avastin - グリオブラストーマ (再発例) RG1415/Tarceva - 肺がん (1 st line)	RG435/Avastin - 結腸がん (アジュバント) - 胃がん - 乳がん (アジュバント) - グリオブラストーマ RG1273/pertuzumab - 乳がん	EPOCH/Epogin - CIA RG435/Avastin - 乳がん RG1415/Tarceva - 膝がん RG340/Xeloda - 胃がん RG597/Herceptin - 胃がん
骨・関節		RG484/Bonviva(oral) - 骨粗鬆症	MRA/Actemra - sJIA (海外) - 関節リウマチ(sc) ★ RG1594/ocrelizumab - 関節リウマチ RG484/Bonviva(inj) - 骨粗鬆症	ED-71 - 骨粗鬆症
腎				RG744/Mircera - 腎性貧血
その他	NA808 - C型慢性肝炎 RG1450 - アルツハイマー病	CSG452/RG7201 - 糖尿病 RG1583/taspoglutide - 糖尿病 RG1678/(GLYT1) - 統合失調症	RG442/Pegasys - B型慢性肝炎 RG442+RG964/Pegasys + Copegus - 肝硬変	オレンジ: 自社品 ★: 4/23からの変更点

開発の状況ーがん領域

導入品

ハーセプチン
胃がん

5月 優先審査品目指定

開発の状況一骨・関節領域

自社品

ACTEMRA

関節リウマチ（皮下注製剤）

5月 P3試験開始

関節リウマチに伴う関節破壊進行抑制/
身体機能改善 6月 承認（欧州）

全身型若年性特発性関節炎（sJIA）
欧州リウマチ学会でP3データ公表

導入品

RG1594（オクレリズマブ）

関節リウマチ

ロシュはリスク/ベネフィットを考慮して開発中止

開発の状況－移植・免疫・感染症、その他

自社品

エポジン

自己血貯血 6月 承認

週1回の皮下投与が可能に

導入品

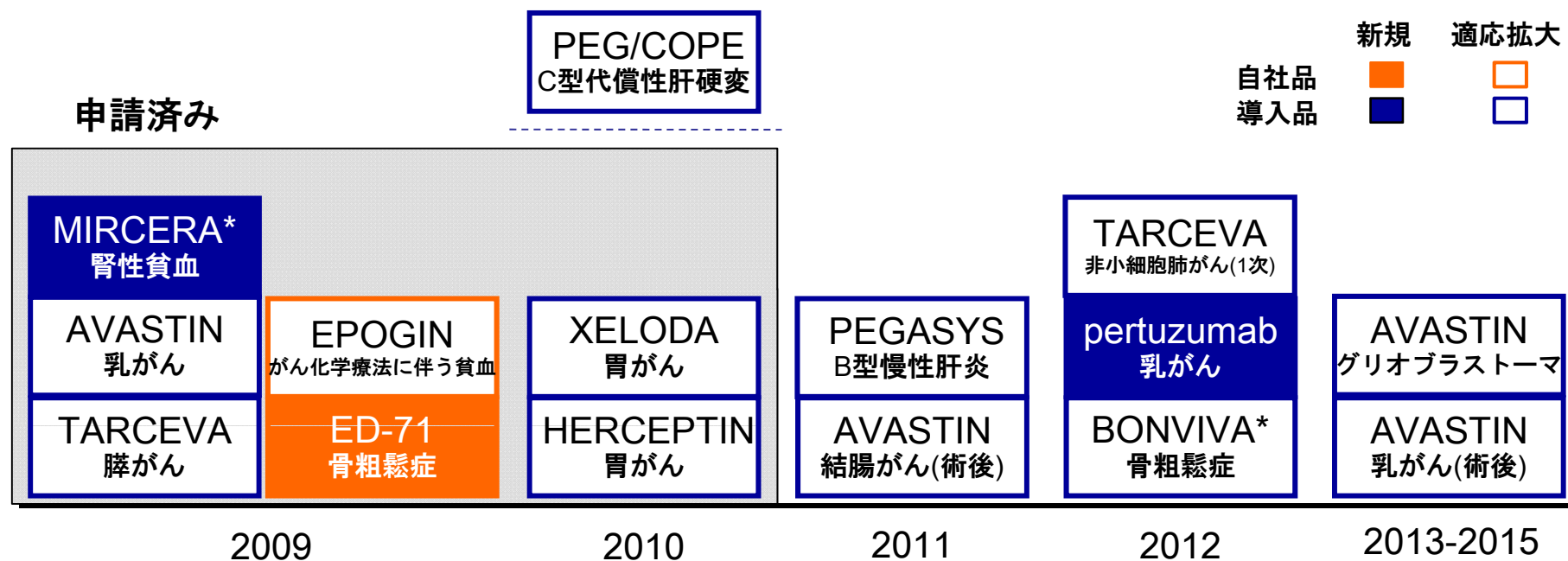
NTZ

C型慢性肝炎 開発中止

開発ポートフォリオの優先順位を見直した結果、開発中止

今後の申請予定

- 2010年下期は2製品（1プロジェクト）の適応拡大申請予定



*海外製品名

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：山田、広瀬、荒木、宮田

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村